

⑫ 公開特許公報(A) 平2-280750

⑬ Int. Cl.³A 61 F 9/04
A 61 N 5/06

識別記号

315

庁内整理番号

A

6840-4C
8932-4C

⑭ 公開 平成2年(1990)11月16日

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全6頁)

⑮ 発明の名称 アイマスク

⑯ 特 願 平1-103154

⑰ 出 願 平1(1989)4月22日

⑱ 発 明 者 福 原 茂 東京都町田市鶴川3-8-12
 ⑲ 出 願 人 福 原 茂 東京都町田市鶴川3-8-12
 ⑳ 代 理 人 弁理士 西澤 利夫

明 細 書

1. 発明の名称

アイマスク

2. 特許請求の範囲

(1) 眼部を覆う布地部に、眼球上に位置するように遠赤外線セラミック板を内封し、布地部に延設したベルト部によって頭部に装着自在となることを特徴とするアイマスク。

(2) 布地部または布地部とベルト部の内側をセラミックコーティングしてなる請求項(1)記載のアイマスク。

(3) 布地部の両端に延設したベルト部の端部にマジックテープを貼着してなる請求項(1)記載のアイマスク。

(4) 遠赤外線セラミック板が Al_2O_3 、 BaTiO_3 を主成分としてなる請求項(1)記載のアイマスク。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明はアイマスクに関するものである。さらに詳しくは、この発明は、目の疲れを和らげ、頭部の疲労感を軽減するに優れた新しいアイマスクに関するものである。

(従来の技術とその課題)

従来より目の疲れを和らげたり、あるいは旅行時等での眠りを快適なものとするために、装着自在な布製のアイマスクが広く使用されている。また、その素材についてもこれまでに様々なものが提案されてきている。

しかしながら、これまでのアイマスクは、光を遮断して眼を休めることが主目的とされており、目の疲れや、これにともなう頭部の疲労感を軽減することはあまり期待することができなかった。身の細るような心労、重篤な自律神経失調、更年期障害、慢性不眠症などには大抵の場合視力低下の現象がともなっており、時には耐え難い眼精疲労がおそうことがある。この眼精疲労による不

PAT-NO: JP402280750A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02280750 A
TITLE: EYE MASK
PUBN-DATE: November 16, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

FUKUHARA, SHIGERU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

FUKUHARA SHIGERU

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP01103154

APPL-DATE: April 22, 1989

INT-CL (IPC): A61F009/04, A61N005/06

US-CL-CURRENT: 2/15, 602/2

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the circulation in the eye part and lighten the eye fatigue and the fatigue feeling of the whole head part and secure the comfortable sleep by setting an ultrared ray ceramic plate so as to be positioned on the eye globe in a cloth part covering the eye part and freely installing the ceramic plate on the head part by a belt part extended from the cloth part.

CONSTITUTION: An eye mask 1 has a cloth part 2 covering the eye part and a belt part 3 extended from the edge part of the cloth part 2, and an ultrared ray ceramic plate 4 is enclosed in the cloth part 2. The ultrared ray ceramic plate enclosed in the cloth part is made of a material which easily

irradiates

the ultrared ray easily absorbable by a human body made of water, protein, fat, etc., in almost all the part, with the preferable wavelength of 4 to $30\mu\text{m}$.

Among a variety of preferably compositions, a component containing Al_2O_3 and BaTiO_3 as the main constituents is one of the most

preferable. The belt part 3 of the eye mask 1 may be of free installation type

onto a head part by attaching a magic tape 5.

COPYRIGHT: (C)1990, JPO&Japio

快感と苦痛は心身にはかりしれない悪影響を及ぼす。

この眼精疲労は眼部の血行不順と無関係ではない。

また、周知のように、老化は眼の衰えとして現われ、老人性白内障はその代表的なもので、その要因は瞳孔の水晶体の濁りにあるが、遠因としては、眼部の血行不順による新陳代謝の低下があるものと考えられている。

さらにまた、コンピューターディスプレイの長時間の凝視による児童や成人の眼精疲労が広まるに従って、目の疲れは精神のバランスを崩し、自律神経失調の引き金ともなる。他の病気を誘引する要因として軽視できないものである。

このように、人間の心身活動のバランス維持にとって眼部は極めて重要なものである。しかしながら、これまでのアイマスクは、これらの重要性についてあまり考慮が払われていないのが実情である。単に眠りのための補助手段としてしか考えられていない。

からなり、この発明の発明者によって、4～30 μm 程度のものが好ましい波長であって、そのためのセラミック組成にも各種のものがあることがすでに見出されてもいる。

たとえば、その組成としては、 Al_2O_3 、 BaTiO_3 を主成分とするものが好ましいものの一つとして例示することができる。

このような遠赤外線セラミック板は、それ自身が光や熱を吸収して遠赤外線を放射し、身体を内部より暖めて血行を良くするとともに、硬質のセラミック板であることから、この発明のアイマスクの場合には眼球の指圧効果にも優れたものとなる。

添付した図面に沿ってこの発明のアイマスクについてさらに詳しく説明する。

第1図および第2図は、この発明のアイマスクの一例を示したものである。この例に示したように、アイマスク(1)は、眼部を覆う布地部(2)とその端部より延設したベルト部(3)とを有し、布地部(2)には遠赤外線セラミック板(4)を

眼球部の血行増進についてもほとんど考慮されていないのである。

この発明は、以上の通りの事情に鑑みてなされたものであり、これまでのアイマスクに期待することのできない眼の疲れ、頭部の疲労感の軽減という効果を簡便に実現することのできる新しいタイプのアイマスクを提供することを目的としている。

(課題を解決するための手段)

この発明は、上記の課題を解決するものとして、眼部を覆う布地部に眼球上に位置するように遠赤外線セラミック板を内封し、布地部に延設したベルト部によって頭部に装着自在としてなることを特徴とするアイマスクを提供する。

またこの発明は、布地部、または布地部とベルト部の内側にセラミック・コーティングしてなるアイマスクを好ましい態様としてもいる。

布地部に内封する遠赤外線セラミック板は、大部分が水分とたんばく質および脂肪等からなる人体に吸収されやすい遠赤外線を放射しやすい材料

内封している。この遠赤外線セラミック板(4)は、アイマスク(1)を装着した時に眼球の上に位置するようにしている。

この布地部(2)の構造をA-A断面で示したものが第2図である。

布地部(2)は、眼部に当接する布地(2a)と、表面外側の布地(2b)とを貼り合わせ、あるいはぬい合わせ等によって接合して袋状としてもよいし、一体成形体としてもよい。布地(2a)(2b)は素材として同一もしくは別異のものとすることができる。眼球部に当たる内側布地(2a)は、柔軟で、触感の良いものとし、外側布地(2b)は、比較的硬質で、取扱い中に傷がついたり、破損したりしないような素材から選択することが好ましい。布地(2b)は、レザー調のものとしてもよい。

内側布地(2a)は、この発明の効果をさらに高めるために、セラミックコーティングしてもよい。これは布地(2a)の素材をセラミックスラリーに浸漬することで容易に作製される。もちろ

ん、その方法は多様なものが可能である。この場合のコーティングは、ベルト部(3)の内側面に施してもよい。こうすることにより、頭部の全周に対しての作用が期待される。

遠赤外線セラミック板(4)の内封については、袋状の布地部(2)の内側に接着剤によって固定することができ、またはスポンジを封入して内封位置を固定するようにしてもよい。

遠赤外線セラミック板(4)としては、 Al_2O_3 、 SiO_2 、 TiO_2 、 ZrO_2 、 Fe_2O_3 、 MgO 、 B_2O_3 などの酸化物の成形体とすることができ、C(炭素)などを含有させてもよいし、あるいは樹脂バインダーを用いてもよい。たとえば具体的には、原料の重量比で

Al_2O_3	70%
$BaTiO_3$	10%
Mn	2%
Ti	3%
粘土	10%
その他	5%

は旅行時にも手軽に使用することのできる新しいタイプのアイマスクとなる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明のアイマスクの一例を示した斜視図である。第2図は、そのA-A断面図である。

- 1…アイマスク
- 2…布地部
- 3…ベルト部
- 4…遠赤外線セラミック板
- 5…マジックテープ

の組成物を焼結して製造したものをを用いることができる。

アイマスク(1)のベルト部(3)は、マジックテープ(5)を貼着して頭部に着脱自在としてもよいし、あるいはゴム状のものによって布地部(2)に両端部を連結するようにしてもよい。

いずれの方法においても、セラミック板(4)が眼球を押圧して指圧効果が得られるようにする。

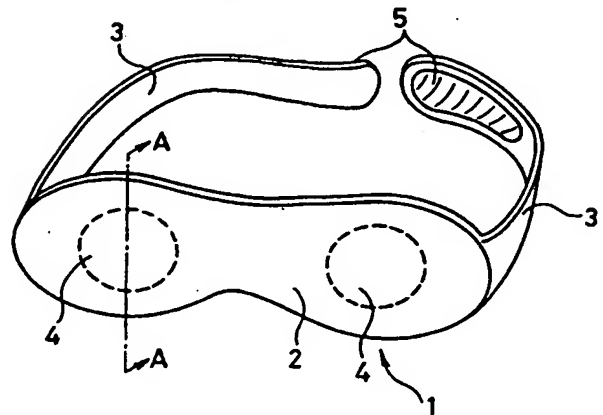
たとえば以上のように例示することのできるアイマスク(1)は、装着前に、光、熱によって暖めておく効果的であり、温熱効果と、指圧効果とが増幅される。

(発明の効果)

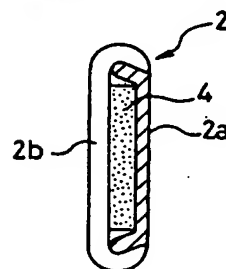
この発明により、眼部の血行を良くし、眼の疲れ、そして頭部全体の疲労感を軽減し、しかも快適な眠りをも可能とするアイマスクが提供される。

また、布地部およびベルト部にセラミックコーティングを施す場合には、後頭部の“ぼんくぼみ”にあるツボに対しても血行改善作用が働くことが期待される。日常の家庭やオフィス、さらに

第 1 図



第 2 図



代理人 弁理士 西 澤 利 夫

手続補正書(自 発)

訂 正 明 細 書

平成2年 1月24日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成 1年 特 許 願 第 1 0 3 1 5 4 号

2. 発明の名称

アイ マ ス ク

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 東京都町田市鶴川3-8-12

氏 名 橋 原 茂

4. 代 理 人 (郵便番号 150)

東京都渋谷区宇田川町2-1

渋谷ホームズ423

(電話東京(780) 0981代表)

(9323) 井 理 士 西 澤 利 夫

5. 補正の対象

明 細 書 全 文

6. 補正の内容

別 紙 の 通 り

方
審
議
室

1.26

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明はアイマスクに関するものである。さらに詳しくは、この発明は、目の疲れを和らげ、頭部の疲労感を軽減するに優れた新しいアイマスクに関するものである。

(従来の技術とその課題)

従来より目の疲れを和らげたり、あるいは旅行時等での眠りを快適なものとするために、装着脱自在な布製のアイマスクが広く使用されている。また、その素材についてもこれまでに様々なものが提案されてきている。

しかしながら、これまでのアイマスクは、光を遮断して眼を休めることが主目的とされており、目の疲れや、これにともなう頭部の疲労感を軽減することはあまり期待することができなかった。

身の細るような心労、重篤な自律神経失調、更年期障害、慢性不眠症などには大抵の場合視力低下の現象がともなっており、時には耐え難い眼精疲労がおおそうことがある。この眼精疲労による不

1. 発明の名称

アイ マ ス ク

2. 特許請求の範囲

(1) 眼部を覆う布地部に、眼球上に位置するように遠赤外線放射セラミック板を内封し、布地部に延設したベルト部によって頭部に装着自在としてなることを特徴とするアイマスク。

(2) 布地部または布地部とベルト部の内側をセラミックコーティングしてなる請求項(1)記載のアイマスク。

(3) 布地部の両端に延設したベルト部の端部にマジックテープを貼着してなる請求項(1)記載のアイマスク。

(4) 遠赤外線放射セラミック板が Al_2O_3 、 BaTiO_3 を主成分としてなる請求項(1)記載のアイマスク。

快感と苦痛は心身にはかりしれない悪影響を及ぼす。

この眼精疲労は眼部の血行不順と無関係ではない。

また、周知のように、老化は眼の衰えとして現われ、老人性白内障はその代表的なもので、その要因は瞳孔の水晶体の濁りにあるが、遠因としては、眼部の血行不順による新陳代謝の低下があるものと考えられている。

さらにまた、コンピューターディスプレイの長時間の凝視による児童や成人の眼精疲労が広まるに従って、目の疲れは精神のバランスを崩し、自律神経失調の引き金ともなる。他の病気を誘引する要因として軽視できないものである。

このように、人間の心身活動のバランス維持にとって眼部は極めて重要なものである。しかしながら、これまでのアイマスクは、これらの重要性についてあまり考慮が払われていないのが実情である。単に眠りのための補助手段としてしか考えられていない。

眼球部の血行増進についてもほとんど考慮されていないのである。

この発明は、以上の通りの事情に鑑みてなされたものであり、これまでのアイマスクに期待することのできない眼の疲れ、頭部の疲労感の軽減という効果を簡便に実現することのできる新しいタイプのアイマスクを提供することを目的としている。

(課題を解決するための手段)

この発明は、上記の課題を解決するものとして、眼部を覆う布地部に眼球上に位置するように遠赤外線放射セラミック板を内封し、布地部に延設したベルト部によって頭部に装着自在としてなることを特徴とするアイマスクを提供する。

またこの発明は、布地部、または布地部とベルト部の内側にセラミック・コーティングしてなるアイマスクを好ましい態様としてもいる。

布地部に内封する遠赤外線放射セラミック板は、大部分が水分とたんぱく質および脂肪等からなる人体に吸収されやすい遠赤外線を放射しやすい材

を内封している。この遠赤外線放射セラミック板(4)は、アイマスク(1)を装着した時に眼球の上に位置するようにしている。

この布地部(2)の構造をA-A断面で示したものが第2図である。

布地部(2)は、眼部に当接する布地(2a)と、表面外側の布地(2b)とを貼り合わせ、あるいはぬい合わせ等によって接合して袋状としてもよいし、一体成形体としてもよい。布地(2a)(2b)は素材として同一もしくは別異のものとすることができる。眼球部に当たる内側布地(2a)は、柔軟で、触感の良いものとし、外側布地(2b)は、比較的硬質で、取扱い中に傷がついたり、破損したりしないような素材から選択することが好ましい。布地(2b)は、レザー調のものとしてもよい。

内側布地(2a)は、この発明の効果をさらに高めるために、セラミックコーティングしてもよい。これは布地(2a)の素材をセラミックスラリーに浸漬することで容易に作製される。もちろ

料からなり、この発明の発明者によって、4~30 μ m程度のものが好ましい波長であって、そのためのセラミック組成にも各種のものがあることがすでに見出されてもいる。

たとえば、その組成としては、 Al_2O_3 、 $BaTiO_3$ を主成分とするものが好ましいものの一つとして例示することができる。

このような遠赤外線放射セラミック板は、それ自身が光や熱を吸収して遠赤外線を放射し、身体を内部より暖めて血行を良くするとともに、硬質のセラミック板であることから、この発明のアイマスクの場合には眼球の指圧効果にも優れたものとなる。

添付した図面に沿ってこの発明のアイマスクについてさらに詳しく説明する。

第1図および第2図は、この発明のアイマスクの一例を示したものである。この例に示したように、アイマスク(1)は、眼部を覆う布地部(2)とその端部より延設したベルト部(3)とを有し、布地部(2)には遠赤外線放射セラミック板(4)

を、その方法は多様なものが可能である。この場合のコーティングは、ベルト部(3)の内側面に施してもよい。こうすることにより、頭部の全域に対しての作用が期待される。

遠赤外線放射セラミック板(4)の内封については、袋状の布地部(2)の内側に接着剤によって固定することができ、またはスポンジを封入して内封位置を固定するようにしてもよい。

遠赤外線放射セラミック板(4)としては、 Al_2O_3 、 SiO_2 、 TiO_2 、 ZrO_2 、 Fe_2O_3 、 MgO 、 B_2O_3 などの酸化物の成形体とすることができ、C(炭素)などを含有させてもよいし、あるいは樹脂バインダーを用いてもよい。たとえば具体的には、原料の重量比で

Al_2O_3	70%
$BaTiO_3$	10%
Mn	2%
Ti	3%
粘土	10%
その他	5%

の組成物を焼結して製造したものをを用いることができる。

アイマスク(1)のベルト部(3)は、マジックテープ(5)を貼着して頭部に着脱自在としてもよいし、あるいはゴム状のものによって布地部(2)に両端部を連結するようにしてもよい。

いずれの方法においても、遠赤外線放射セラミック板(4)が眼球を押圧して指圧効果が得られるようにする。

たとえば以上のように例示することのできるアイマスク(1)は、装着前に、光、熱によって暖めておくと効果的であり、温熱効果と、指圧効果とが増幅される。

(発明の効果)

この発明により、眼部の血行を良くし、眼の疲れ、そして頭部全体の疲労感を軽減し、しかも快適な眼りをも可能とするアイマスクが提供される。

また、布地部およびベルト部にセラミックコーティングを施す場合には、後頭部の“ぼんのくぼみ”にあるツボに対しても血行改善作用が働くこ

とが期待される。日常の家庭やオフィス、さらには旅行時にも手軽に使用することのできる新しいタイプのアイマスクとなる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明のアイマスクの一例を示した斜視図である。第2図は、そのA-A断面図である。

- 1…アイマスク
- 2…布地部
- 3…ベルト部
- 4…遠赤外線放射セラミック板
- 5…マジックテープ

代理人 弁理士 西 澤 利 夫